

『間質性肺疾患患者における顆粒球マクロファージ・コロニー刺激因子(GM-CSF)自己抗体の測定系検証と臨床的意義』研究に係る患者様、ご家族の皆様方へ

当院では、『間質性肺疾患患者における顆粒球マクロファージコロニー刺激因子 (GM-CSF)自己抗体の測定系検証と臨床的意義』という研究を行っています。本研究では、新旧2種類の抗GM-CSF自己抗体の測定系で測定値を比較検討して測定系の精度、安定性を評価します。また、間質性肺疾患の患者さまのうち抗GM-CSF自己抗体の測定値が基準値を超過している患者さまがどれくらいいらっしゃるかを調査します。どのような間質性肺疾患の患者さまで抗GM-CSF自己抗体が基準値を超過しているのかを明らかにすることで、病態に対して新たな治療介入手段を開発できる可能性があると考えております。

<調査の対象となる患者さま> 2002年9月から2019年8月末までに当院で、胸腔鏡下手術 (video-assisted thoracic surgery: VATS)を行い、血液検査が施行された患者様が調査の対象となります。

<調査方法> 患者さまの検査時余剰血液、カルテ等の記録をもとに調査いたします。本調査では、患者様に新たなご負担をおかけすることはありません。

<患者さまのプライバシーに関して> プライバシー・個人情報 は厳重に守られます。お名前、生年月日など患者さまを特定できる情報が外に出ることは決してありません。本研究はヘルシンキ宣言に基づいた倫理原則を遵守し、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和4年3月10日一部改正、文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示）」及び「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針ガイダンス」（令和4年6月6日一部改正）に従って実施しております。

ご不明な点がございましたら、以下に示す本調査の研究代表者、事務局までお問い合わせ下さい。

〒591-8555 大阪府堺市北区長曾根町 1180
国立病院機構近畿中央呼吸器センター
井上 義一(研究代表者) 広瀬 雅樹(事務局)
TEL: 072-252-3021、FAX: 072-251-1372

なおこの研究は病院外の専門家の方を含んだ臨床研究審査委員会における審査・承認を受けて実施しています。